

2017年1月13日

大阪経済記者クラブ各位  
大阪府政記者会 各位  
大阪市政記者クラブ各位

堂島薬師堂節分お水汲み祭り実行委員会

## 平成29年「堂島薬師堂節分お水汲み祭り」実施

平成16年に始まりました「堂島薬師堂節分お水汲み祭り」はお陰様で、2月3日の節分に14回目を迎えることとなりました。日本の歌謡音楽の原点といわれる「声明」が薬師寺僧侶たちによって演じられます。また、北新地芸妓衆の舞踊が奉納されます。記者クラブの皆様方には是非、ご取材いただけますようお願い申し上げます。

### 「堂島薬師堂節分お水汲み祭り」について

堂島薬師堂は、今から1400年余り前の推古天皇元年(593年)、勅命により聖徳太子が最初の官寺となる四天王寺を造営した際、資材の運搬船が嵐で難破し漂着した洲に「堂宇」を建てたと伝えられ、「なにわの守護」として古くから信仰を集めてまいりました。「堂島」の地名はこのお堂が由来で、国内最古のお堂の1つとされています。

毎年節分には、地元堂島薬師堂奉賛会が、江戸時代から続く節分の「鬼追い」行事を伝え、堂島・北新地では花街の風習である「節分お化け」(仮装)が伝えられています。「お化け」とは節分の日の夜、鬼を遣り過すために女性達が仮装する花街堂島北新地の伝統行事です。

平成15年4月、関西経済同友会の提言「水都・大阪の再生—1500年都市の骨格—」により、大阪キタの活性化と水都大阪の再生のための具体的施策として「堂島薬師堂お水汲み儀式」が提案され、地元と経済界の合同による実行委員会が発足しました。地域に伝わる節分行事と融合する形で、現在の「堂島薬師堂節分お水汲み祭り」となり、平成16年に第1回お水汲み祭が開催され、以後回を重ねて、堂島・北新地の「早春の風物詩」として定着してまいりました。平成29年の2月3日節分に14回目を迎えます。

当日は、堂島薬師堂で奈良薬師寺 村上太胤管主による節分法要のあと、薬師寺で祈祷された「お香水」を汲む「お水汲み」が始まります。また、薬師堂から7体の鬼が放たれ、堂島北新地を徘徊します。堂島の「鬼追い」は、先導役・福男・山伏・鬼の手引・鬼・豆持ち・銅鑼(どら)持ちなど1隊あたり7~8名で構成されています。節分(鬼追い)で1年の厄を払い、早春の若水をいただき、福を授かるという水の都大阪の新春にふさわしいお祭りです。

堂島アバンザ1階の特設舞台では、薬師寺僧侶たちによる日本の歌謡の原点といわれる「声明」(しょうみょう)と北新地の芸妓衆による舞いが奉納されます。夜には、堂島薬師堂に祀られる弁財天の化身の「龍」が堂島北新地を巡行し、北新地の女性達による「お化け」がつづきます。また、巡行には「北新地クイーン」も加わり、花を添えます。

「水都大阪の再生」に向けたまちづくりの一翼を担えるものと考えておりますので、報道各社におかれましてはご多忙中とは存じますが、何卒ご取材下さいますよう宜しくお願い申し上げます。

— 記 —

〈祭事のキーワード集〉

堂島薬師堂・奈良薬師寺・節分・鬼追い・福男・豆まき・お水汲み・竹筒護符・水の神龍神・龍の巡行・弁財天・北新地芸妓衆・奉納の舞・お化け・水都大阪の再生・大阪手打ち

平成 29 年【堂島薬師堂節分お水汲み祭り】概要（案）

日時：2017 年 2 月 3 日（金）

★昼の行事 14：15～16：00

|        |             |              |
|--------|-------------|--------------|
| 鬼の入魂式  | 14：15～14：30 | 堂島薬師堂        |
| 節分の鬼追い | 14：30～16：00 | 四つ橋筋以西の堂島西地区 |
| 節分法要   | 15：00～15：15 | 堂島薬師堂        |
| お水汲み   | 15：15～21：00 | 堂島薬師堂        |

★夜の行事 17：30～21：00

|        |             |                  |
|--------|-------------|------------------|
| 節分法要   | 17：20～17：45 | 堂島薬師堂            |
| 舞台催事   | 17：50～18：30 | 堂島アバンザ内特設舞台      |
| 節分の鬼追い | 18：30～22：00 | 四つ橋筋以东の堂島東・北新地地区 |
| 龍の巡行   | 18：50～19：40 | 四つ橋筋以东の堂島東・北新地地区 |

※ 時間は目安です。当日変更することがあります。

会 場：堂島薬師堂を中心とした堂島・曾根崎新地一帯

報道受付：堂島アバンザ内 1 階ホール（17：00 受付開始）

主な内容：

ア. 節分の鬼追い

薬師寺僧侶や鬼や福男からなる「鬼追い隊」が堂島北新地の飲食店や企業を訪問し、従業員や飲食店の客が鬼に福豆を投げて厄を払い、併せて福と春を招く祈願をします。

イ. お水汲み

堂島薬師堂にて僧侶が参拝者の「竹筒護符」に奈良薬師寺のお香水（こうずい）を汲み清め、千客万来・開運招福・無病息災を祈願します。

ウ. 声明

日本の音楽の原点といわれ、薬師寺金堂内でしか聞くことのできない「声明」を堂島アバンザ 1 階の特設舞台で再現します。

## **エ. 龍の巡行**

堂島薬師堂に祀られている弁財天が龍に化身し、夜の堂島北新地の通りを舞いながら巡行し街を清めます。薬師寺の僧侶、新地の女性（お化け）、鬼追い隊総勢150余名の巡行参加者が、新地本通り「蘆月」前において大阪手打ちを行います。

## **オ. 北新地芸妓衆による奉納舞**

北新地の芸妓衆による舞の披露を行い、堂島薬師堂に奉納します。

## **カ. お化け紹介**

北新地の女性たちが、堂島アバンザ1階の特設舞台で節分の「お化け」（仮装）を披露します。「お化け」とは常とは違う装いをする花街の風習で、江戸期より行われる節分の行事の一つです。

## **主 催**

堂島薬師堂節分お水汲み祭り実行委員会

共同実行委員長

|       |                 |                         |
|-------|-----------------|-------------------------|
| 山本 弘澄 | 堂島薬師堂奉賛会会長      | 山本自動車社長                 |
| 田頭 泰  | 天満防犯協会          | 北新地商店会会長 蘆月社長           |
| 宮井 敏明 | 堂島連合振興町会会長      |                         |
| 入江 健一 | 堂島地域社会福祉協議会会長   | 堂島商會社長                  |
| 東司丘興一 | 北新地社交料飲協会理事長    |                         |
| 村上 太胤 | 法相宗法大本山薬師寺管主    |                         |
| 堀井 良殷 | 北新地まちづくり実行委員会会長 | 関西・大阪21世紀協会理事長          |
| 服部 一史 | 関西経済同友会         | お水汲み祭り支援委員会委員長 電通 関西支社長 |
| 北岡美樹浩 | 関西経済同友会         | お水汲み祭り支援委員会委員           |
|       | 西日本電信電話株式会社     | 大阪支店長                   |
| 山田 賢治 | 関西経済同友会         | お水汲み祭り支援委員会委員           |
|       | サントリー酒類株式会社     | 近畿営業本部長                 |

## **後 援**

堂島薬師堂奉賛会 堂島連合振興町会 北新地社交料飲協会 北新地商店会  
北新地まちづくり実行委員会 (一社)日本バーテンダー協会大阪北支部  
(一社)関西経済同友会 (公社)関西経済連合会 大阪商工会議所  
(公財)関西・大阪 21 世紀協会 関西地域振興財団 大阪市北区役所  
文化庁「関西元気文化圏参加事業」

▼ 本件に関するお問い合わせ先  
堂島薬師堂節分お水汲み祭り実行委員会事務局  
大阪市北区堂島 1-2-2 堂栄ビル本館 北新地社交料飲協会内  
TEL. 06-6345-0006 加藤・山田 13:00~18:00  
当日: 090-2592-5272 (織田)

# 報道

## FAX 返信状

FAX : 06-6345-0007

堂島薬師堂節分お水汲み祭り実行委員会 事務局 加藤・山田行

平成29年「堂島薬師堂節分お水汲み祭り」

日時 平成29年2月3日(金)

会場 堂島薬師堂、堂島アバンザ 1F 他

「堂島薬師堂節分お水汲み祭り」の取材に出席します。

(貴社名)

---

(お名前)

---

※誠に恐れ入りますが、1月31日(火)までにご返信いただけますようお願い申し上げます。

## 取材時のお願い

- 当日は、新聞・雑誌関係各記者の合同取材となります。
- 記者、カメラマンの方は貴社腕章をご着用下さいますようお願い申し上げます。
- 当日は会場や周辺エリアの混雑が予想されます。一般のお客様の安全に充分にご配慮下さい。
- 報道関係者は所定の場所からのご取材をお願いいたします。



堂島からは近松門左衛門の戯曲に名を残すヒロイン・遊女も多く出ている。「曾根崎心中」のお初・徳兵衛、「心中天の網島」の小春と治兵衛などであり、これらの文学は、近世日本文学の金字塔である。

また、元禄元年（1688年）、堂島に米穀取引所が建設され、宝永頃（1704年～）には空米取引（からまいとりひき）と呼ばれる米の先物取引も行なわれるようになった。享保15年（1730年）には、低迷が続く米価引き上げのため、米会所（こめかいしょ）での帳合米商（ちょうあいまいあきない）が公許された。この堂島米相場は、ヨーロッパに先駆けること百年も早い世界初の先物取引所の誕生であった。堂島・中之島の蔵屋敷はその中心地であり、「堂島の米相場」は世界の先物取引の先駆として、日本近世経済の礎を築いたのである。堂島薬師堂は、新地の花街や米相場師など、多くの人々の信仰を集め賑わったといわれている。

#### ○明治以降の堂島薬師堂

- ・明治42年7月30日の大火「天満焼け」で堂島薬師堂も焼失したが、「花半」の当主が仏像を持ち出して自宅に運び、焼失を免れた。
- ・明治44年2月、旧毎日新聞大阪本社（現堂島アバンザ）の場所に、松竹合名会社が劇場「堂島座」をオープンした。（堂島座は大正5年3月に閉鎖）
- ・大正2年には堂島薬師堂が東に移されて建立されたが、関係者が次々原因不明の病気で亡くなり、たたりと言われた。
- ・大正11年3月には、毎日新聞社は、堂島座の敷地を買収し本社の社屋を完成した。当時の堂島薬師堂の周りは置屋街で、北新地花街のきれいどころが、朝夕お参りする姿が見られた。節分の鬼追い、地藏盆などの行事が町内をあげて盛大に営まれ、北館あたりの空き地に大護摩を焚いた。
- ・昭和16年11月、毎日新聞社が堂島薬師堂のあった堂島上2丁目25番地の敷地を取得。  
第2次世界大戦のアメリカ空軍による空襲でも堂島薬師堂は戦災を免れた。
- ・昭和28年11月、町内世話人の要望で、奈良薬師寺の橋本管長（当時）を招いて盛大な復興祭を営んだ。節分や盆踊りの行事も復活した。
- ・昭和50年7月、毎日新聞社の新社屋計画に伴い堂島薬師堂を仮移転した。以後、毎日新聞社が主体的に管理を行い、毎月2回、堂島薬師堂奉賛会と奈良薬師寺僧侶による法要が営まれている。
- ・平成12年3月「堂島アバンザ」の竣工に伴い、現在のお堂に薬師如来像等に移した。新しいお堂は三角形の金色をした熱反射ガラス127枚を球形（直径7.5m）に組み合わせたもので、周りには池と滝を配置し、薬師堂にかつてあった井戸の遺構を池の西側に配置している。

## 【節分・鬼追い・お化け】

2月4日は二十四節気の立春。旧暦で年の初めであり、その前日の大晦日が節分です。節分には、その年の邪気を取り除くため、「鬼は外、福は内」の節分の行事が行なわれます。これは、古代中国で生まれた陰陽道の思想によるもので、日本では平安初期から鬼を排除する「追儺」（ついな）の儀式として宮中の年中行事として行われていました。「鬼追い」・「鬼やらい」とも言われます。宮中行事としては江戸期に無くなりますが、各地の節分行事として残っています。

堂島では堂島薬師堂奉賛会が江戸時代から続く「鬼追い」を伝えています。

薬師堂で薬師寺僧侶によって入魂された7匹の鬼が、山伏・鬼の手引き・豆持ち・銅鑼持ち・福男など7~8名で一隊を構成し、法螺貝を吹き銅鑼を鳴らしながら堂島・北新地を徘徊します。

「節分お化け」は江戸期より続く花街の風習で、節分の夜に常とは異なる扮装をして出てくる鬼を遣り過ごします。芸妓が丸髷に結って町の新造を装ったり、歌舞伎の役どころの男に扮してお座敷をまわったそうです。「忙しくしている人々の隙に付け込み悪事を働く邪気や魑魅魍魎を惑わし、追い払う仮装」とも言われ、昭和30年代頃までは各地で盛んに行なわれていました。花街を起源とする堂島・北新地でも、常とは違う仮装をする風習が伝わっています。各店の従業員・ホステスが仮装をしてお客を迎え、節分祭に花を添えています。

現在、堂島薬師堂では、2月3日（立春の前日）に節分祭を行なっています。町内会役員・薬師寺僧侶・鬼・福男など、8人1組となり、法螺貝を吹き、銅鑼を鳴らしながら堂島・北新地の各店を回り歩きます。お店の中では、入ってきた鬼をめがけて、お客や従業員が福豆を投げつけ、厄払いをします。また、護摩木に願いを書き入れ、堂島薬師堂にて護摩焚きを行なう「護摩供厳修（ごまくげんしゅう）」も行なっています。当日は、アバンザ西広場で堂島女性会によるぜんざいの配布や北新地社交料飲協会青年部によるふるまい酒が行なわれています。

## 【お水汲み・竹筒護符・水かけ弁財天】

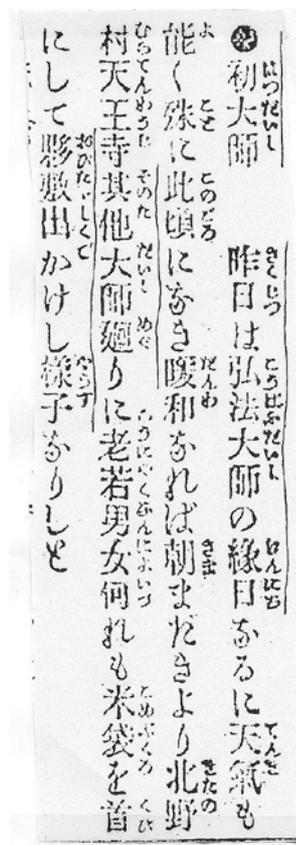
かつて堂島薬師堂には井戸がありこんこんと水が湧き出ていました。(現在は井戸の遺構が残っています)、街の人々や芸妓衆は、この水を汲んで薬師堂に奉納し、商売繁盛や習い事の上達を祈願し、身辺の清めに使ったといえます。

平成16年3月19日に復活された第1回堂島薬師堂「お水汲み祭り」では、薬師寺の僧侶によって祈祷され、お香水で清められた竹筒護符が配られ、また龍のお練りが行なわれました。堂島薬師堂とその井戸の周りで練りひろげられたであろうお水汲み、水かけ弁財天など、水に関わる祭事を21世紀の今、春と福を呼ぶ祭事として再興・復活させたものです。

また、明治期に賑わった「大師詣で」など

(堂島薬師堂は一番の霊場)、堂島薬師堂の門前の賑わいを取り戻すことによって、堂島・北新地の発展の一助となれば幸いです。

《明治26年1月22日大阪毎日新聞から》



## 【堂島薬師堂節分お水汲み祭】

平成16年に復活した第1回堂島薬師堂「お水汲み祭り」は、平成17年の2月3日節分に地元の伝統行事である「節分祭(鬼追い)」と統合し、「堂島薬師堂節分お水汲み祭り」として挙行されました。平成29年の節分で、第14回目を迎えます。